# 大腿骨転子部骨折で手術を受ける患者様

患者様用

| 月日（日時） | / | / | / | / | / ～ / | / | / ～ / | / |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経過（病日等） | 入院日 | 手術当日 | 術後1日 | 術後2日 | 術後1週（術後3日～5日） | 術後6日目 | 術後2週間（術後7日～13日） | 術後14日目退院 |
| 達成目標 | □入院生活の説明が理解出来る<br>□手術の必要性が理解でき、<br>手術に同意している | □麻酔・手術に対して不安が最小限である<br>□傷の痛みや他の苦痛が和らぐ<br>□深部静脈血栓の徴候がない<br>□著明な出血がない | □下肢のしびれや冷感がなく、 痛みが緩和される<br>□創の感染徴候がない<br>□深部静脈血栓の徴候がない | | □創の感染徴候がない<br>□疼痛コントロールができ、リハビリが継続的にできる | | □疼痛コントロールができ、<br>リハビリが継続的にできる | □退院後の生活注意事項が理解できる |
| 食　事 | ・夕食まで食事ができます<br> | ・手術終了まで絶飲食になります<br>・手術後、腹部の動きを確認後 飲水できます | ・通常の食事になります | | | | | |
| 清　潔 | ・全介助浴もしくは身体を拭きます | | ・看護師が身体を拭きます | | ・適宜、看護師が身体を拭きます | → | ・抜糸後入浴できます | |
| 検査<br>治療<br>処置 | ・痛み止めの内服薬を処方します<br>・弾性ストッキングを装着します<br>（はずす許可がでるまで装着します）<br>・手術部位の左右確認のため、<br>手の甲にマジックで〇印を書きます<br>・患部を氷で冷やします | 〈手術前〉<br>・手術着に着替えます。足の剃毛を行ないます<br>・術前に500ml点滴2本と抗菌薬の点滴をします<br><br>〈手術後〉<br>・採血があります。必要によって輸血をします<br>・手術後に500mlの点滴3本と抗菌薬の点滴をします<br>・傷口にドレーンが入ります<br>・痛み止めのチューブが入ります | ・500mlの点滴2本と抗菌薬の点滴<br>がありま<br><br>・採血があります<br>・血栓予防の内服薬を処方します | ・500mlの点滴が2本あります<br>薬の点滴があります<br>・ドレーンを抜きます | ・3日目に採血があります<br>・3日目と5日目にガーゼ交換があります<br><br>・5日目頃に痛み止めのチューブを抜きます | ・ガーゼ交換があります | ・7日目に採血とレントゲンがあります<br>・10日目に抜糸をします<br>・次の日、傷口の確認をします | 採血とレントゲンがあります<br>・弾性スットッキングを脱ぎます |
| 活動・安静度<br>リハビリ | ・ベッド上安静です | ・ベッド上安静です | ・リハビリ開始 | ・傷口のドレーンが抜けて<br>ベットから移動できます | ・歩行練習を行います。平行棒から歩行器・杖歩行となります<br>・車椅子移動ができるようになります | | ・10日目頃より階段昇降の練習をします | ・退院後も外来通院でリハビリを行います<br> |
| 排　泄 | ・尿の管を入れます<br>・排便の確認をします<br>・排便無ければ浣腸します | | | | ・状態によって尿の管を抜きます | | | |
| 患者様及び<br>ご家族への説明<br>栄養指導<br>服薬指導 | 〈 看護師に渡すもの 〉<br>・持参した薬<br><br>・入院書類一式<br>・手術や麻酔の同意書<br>・リハビリで履く靴を持って来て下さい<br>・当院退院後について社会福祉士より<br>話があります | ・手術前に、貴金属類・義歯・眼鏡・コンタクト・ヘアピン・カツラ・湿布・ネイル等を外します<br>・手術後、主治医より手術の結果と今後について説明します<br>・手術後は足首や足趾の運動をして下さい<br>・手術後、痛みが強いときには、我慢せずに教えてください | | | | | | ・退院処方が出ます<br>・退院後の生活について看護師から説明します<br>・次回受診日：　月　日（　） |

病状に応じて、このスケジュールは変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら、看護師にお尋ねください。

改訂：2024.07.23